

たがわない  
約 束

3

[防水・気密テープ]

# 継ぎ目に 隙なし

その①

現在の住宅の省エネルギー基準には、気密性能に対する指標がありません。しかし高い

## 気密性能

が確保されなければ、どんなに断熱

材を入れても、隙間から空気が入りしてしま  
い、快適な室内空間を保つことはできません。  
また、住宅メーカーとして気密性能をおざなり  
にすることは、オーナー様宅の空気の質に責任  
を持たないことと同じだと、スウェーデンハウ  
スは考えます。空気の質を保つために必要な計  
画換気も、気密性能が備わっていればこそ有効  
だからです。

快適かつ健康的で、環境負荷の少ない暮らし  
には、高いレベルで気密・断熱・計画換気を組  
み合わせることが重要なのです。

### 壁パネル外側で 気密を確保

防水・気密テープは、  
2階床根太、頭つなぎ、  
壁パネル合板に沿っ  
てぴったりと貼る。

グラスウール

2階床根太

[屋外側]

通気層

頭つなぎ

1階壁パネル

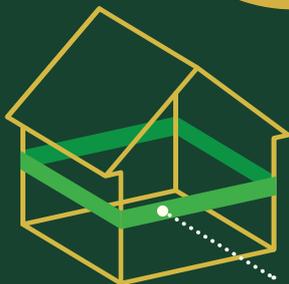
外壁

[室内側]

### 壁パネル内側で 気密を確保

防湿気密フィルムを、  
頭つなぎの上端まで伸  
ばすことで、気密性能  
を確保。

防水・気密テープで、  
家を1周、貼り巡らせる。



気密性を高めるための施工のポイントは、家  
が完成してしまえば目に触れることのない部分  
にまで及びます。

1階壁パネルと2階床の接合部には

## 防水・気密テープ

を施し(図参照)、壁パネルの外側に7.5cm幅  
のテープを建物の外周に沿ってぐるりと貼り巡  
らせます。これはスウェーデンハウス独自の工  
程です。

一方、壁パネル内側は、防湿気密フィルムを頭  
つなぎの上端まで伸ばすことで、隙間をしっか  
り防ぎます。つまりダブルで、より磐石な気密  
対策を施しているのです。

建物の気密性能を確認するためには、完成後、

## C値

(相当隙間面積)を実測するしか  
方法がありません。独自の厳しい

基準で細部にまで気を配り、一つ一つ気密施工を  
重ねることで、スウェーデンハウスは竣工時だけで  
なく、その後の快適な住み心地をお約束します。

スウェーデンハウスは、これからも気密性能に  
こだわり続けていきます。